

REBORN OLD TOKAI Electric Guitars

TOKAI GAKKI CO. LTD. 36 TERAWAKICHO, HAMAMATSU JAPAN PHONE:(0534)41-3137

- ST-42 メイアールピックアップをフェーチャー・ポテンはもちろんセン単板。'54ストラトのエキスはバツチリ盛り込んであるからコストパフォーマンス、バツグン。初めエレキをもフキミにはやしせむたかかな？バツチリ練習してギタープレイヤーになる。ネックシェイプはU。カラーはYS。0W。BB。価格は¥42,000。
 - ST-50 画期的なトナリフルソングタイプを搭載。バツチリきまったクローゼンヘッドで友達に差を付けてやる。もちろん、ローズ指板(R)もある。特にオリンピックホワイトのローズ指板が美しい。ネックシェイプはU。カラーはYS。0W。BB。価格は¥50,000。Nは¥55,000。
 - ST-60 新聞発のAタイプピックアップをマウント。'54ストラトと同じマテリアルのコイルから生まれるシャープでアタッキーなサウンドは、いままでの国産コピーでは、ほとんど聞かれなかった。ネックシェイプはU。カラーはYS。0W。BB。GS。価格は¥60,000。Nは¥65,000。
 - ST-80 これぞ"STシリーズ"の決定版。あるギタープレイヤーが言った。「フェンダーをのりこえた」と。その実力をミュージックショップで実際に試して、弾いて確認してほしいのだ。ネックシェイプは'54ストラトの形状そのままのV。ラックアップ上げ。カラーはGS。BL。価格は¥80,000。Nは¥85,000。
 - ST-100 ST-80をさらにグレードアップ。ヘッドウェアはすべて全メッキを施した。ちょっとめずらしいアイテムコレクション。ボディは厳選されたセンワンピース。メイアールネックには"トラモク"（虎のシマ目のようにシマシマの木目）がバツチリまわっている。カラーはBL。GS。N。価格は¥100,000
- カラー OWオリンピックホワイト BBブラック YSイエローサンバースト GSゴールドサンバースト BLブロンズ Nナチュラル



帰ってきた「トーカー'54ストラト」

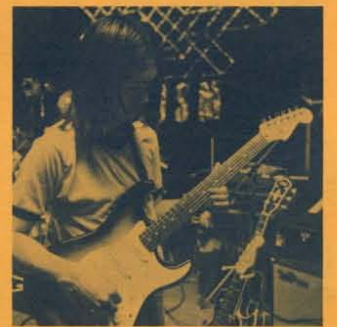
彼女は「完成されたデザイン」シングルコイルPU「エレキギターの革命的機能、シンクロイズド・トモロユニット」とのコンビネーションによって絶妙なストロサウンドにはなり宇宙空間を支配する。彼女のシャープでアタッキーなサウンドを、ゆいゆいは「スプリングサウンド」とつけた。もちろん、彼女のデリケートな「スプリングサウンド」は並みのストラトモデルからは得られはしない。断言しよう。トウイ・エレクトリックギタープロジェクトチームは'54ストラトをデジタイズ的にコピーしたのだ。デジタイズというのは「レップ」といって、ピンスの形がなくても、木工加工でいかに素材選別から角の面取りの工程までも追求したという事なのだ。このポリシーはすべて'54ストラトの「スプリングサウンド」を追求するために、つらぬかれたのだ。そのうえパーツ精度の向上も成しとげてしまった。さあ、このメッセージと「エレクトリックギターマニュアル VOL.2」をじっくり読んで、からミュージックショップへ出かけよう。キミの彼女になる事、まちがれなし!!とに、いま、この宇宙で最も注目されているオールドモデルはトウイ'54ストラトなのだ。

STシリーズ「トーカー'54ストラトキャスターモデル」仕様チャート

機種	ST-42	ST-50	ST-55N	ST-60	ST-65N	ST-80	ST-85N	ST-100
価格	¥42,000	¥50,000	¥55,000	¥60,000	¥65,000	¥80,000	¥85,000	¥100,000
ボディカラー	OW-BB-YS	OW-BB-YS	N	OW-GS-BB-YS	N	GS-BL ラックアップ上げ	N ラックアップ上げ	BL-GS-N ラックアップ上げ
ボディ	セン単板けりソリ			セン2ピース単板けりソリ				セン1ピース 単板けりソリ
ネック	メイアールピース(D-2)指板もあります。							
ネックシェイプ	U	U		U		V		V
ヘッド	7弦タイプ		トナリフルソングタイプ				トウイ クローズド ヘッド	
P.U	ST-Bタイプ			ST-Aタイプ				
ピック	骨質完全手づくり							
使用弦	ダブルコ・アンカー・スプレッドゲージ(D-9300)							
その他バリエーション	すべて新聞発オールドタイプ						ゴールドメッキ	

K. Morizono

「こいつはスゴイ//プロの要求に応えるギターだ。」
ST-80GSRでプレイする 森園勝敏



この紙面を眺めればトウイ'54ストラトキャスターモデルの全てがわかるのだ。ここにはトウイの本工技術とバツグンの全てが明らかになっているから、いざ通り読めば、キミはもうストラト通だ。それはLSシリーズ、LCシリーズ、PBシリーズ、SSシリーズにはELECTRIC GUITAR MANUAL Vol.2を必ず見てほしい。細部の内蔵、カラーなどはすべてバツチリわかる。そして、このトウイのプロフェッショナルを簡単に紹介しよう。*CFマシネと技術提携、アコースティックギターファンには、おなじみのキャブリアー、ギター、ギター、他社の直営を許さずトウイバンジョーの発表、さらには、エレキの製作など数々の実績をもとにエレキギターの開発にのりだ。ST-LS-LC-GS-PBの各シリーズはギターファンに圧倒的に拍手喝采をもらってきた。ぜひトウイ'54ストラトまで、あらゆるプレイヤーの夢に近づける。トウイエレキギタープロジェクトチーム、今後ともご期待ください。

熱いサウンドがいまよみがえる!!
エレキギターのクイーン
「トーカー'54ストラト」

ST-42
ST-50/55N
ST-60/65N
ST-80/85N
ST-100

ST SERIES

VOL.2
東海楽器 製造株式会社
本社：中野区中野 7-42-1 電話：03-3408-0131
支店：東京都目黒区 1-1-1 電話：03-3408-0131
03-3408-1123 FAX

REBORN OLD

リボーン・オールド

あの'54ストラトのsprungingサウンドが「トーカイ'54ストラト」となって帰ってきた。東海楽器

TOKAI ELECTRIC GUITAR PROJECT TEAM

リボーン・オールドとは、あのレスポールのオリジナルモデルがトーカイエレクトリックギタープロジェクトチームの手によって、よみがえった事を言うのだ。

●ポリシー 1 ボディ

STシリーズの木工加工には今まで考えられなかったコンピューターを導入。立体をくまなく加工できる「3次元レーザ」の機械カトリ

ラストマンの高い技術力がアラスされてバツグンの精度を誇るボディが完成した。だからストラトのネックであるとしていたネック取付部が「すばらしい仕上げなのだ。手にとって、他社のものとは比較してほしいのだ。違いがわかるキミ……それだけでギタプレイヤーだ。」もちろん、木材は「センダー」ではなく、よく見て欲しいのだが「全体のボディシェイプが現在のストラトと少し違っている。身体にフィットする部分とアームレストのカッティングが」モリスゴク、ダイタンにならている。他社のオールドコピーとくらべて、その凹が違っていたとすれば、そのギターはオールドコピーではないのだから、よく注意してほしい。ギターを見分けるとき「こういう時、木材になるのだ。」



※のぞ。もちろんネックの剛性、音の伝導具合が一段と向上した事はいうまでもない。そのすばらしさでキミはシビレしてしまうだろう。



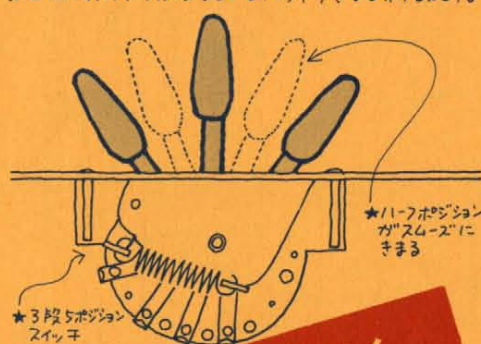
●ポリシー 3 ピックアップ

オールドストラトを完璧にコピーするポリシーは「ピックアップ」にもつらぬかれ、ここに結果した!! '54年オールドモデルにはクルーソンテラックスが「マウント」されていた。だが「国産のオールド



●ポリシー 5 トーン切換えスイッチ

オールドストラトは「ハーフトーン」が出なければ「ナンセンス!!」そのため「国産」は5段階スイッチを開発したのであるが「ちょっとどうかと思うのだ」。そこで「STシリーズ」には「これまた新開発」の3段階5ポジションスイッチを採用、5段階のように「ガツガツする感じがなくスムーズな切替え」と同時に「ハーフポジション」で「バツグン」な新設計。



※類のPUを新開発したのだ。
★Aタイプ……'54ストラトと同じコイルマテリアルを採用した「P.U.」オールドなサウンドを100%発揮する秘密兵器とでもいおうか。
★Bタイプ……'54ストラトのオールドなサウンドをローコストで実現。とはいっても「国産」他社の最高級クラスとかわらぬ!!
（いずれもアルニコ(アルミ、ニッケル、コバルトの合金)ホルピース。パラフィン含浸処理が「ほどこしてあるのだ」)「イズ」は最小限!! とにかく「アタタキ」なサウンドの表現に「STシリーズ」のPUが「バツグン」の実力を発揮する。

●ポリシー 8 ピックガード

'54ストラトのオールドサウンドはこのピックガードにも大きく影響をうけている。現在のストラトは「アライ」11点止め「ガツガツ」ボディに密着しているためオールド特有の微妙なサウンドがこめられていないのだ。'54ストラトは「アライ」8点止め。このため「ボディ」との密着が「完全ではないが」逆に言うと、このピックガードの微妙な「振動」が「ない」と、あのオールドサウンドは「帰ってこないのである」。STシリーズは「アライ」8点止め。PU止めビスが「パネル」デザインを「ピシッ」と決める。



トーカイ'54ストラトの製作ポリシーはこんなにスゴイ
徹底と超越の中身

●ポリシー-2 ネック

①「バグヘッド」はトーカイのもっとも自信あるところなのだ。全体の形状は上げ、ネーミング、バグ、どれをとっても他社の「オールド」モデルとは比較にならないほど良くできている。つまり、これが本当の「クロージャンヘッド」なのである。(カタログ「バグ」)

★角のペーパー加工には、モリスゴーク、時間をかけているのだ。丸味があって「ナイフ」で「その感じは手にしてみるとよくわかる。

★ポジションマークは現在のストラトよりも少し小さい。

②マテリアルはST-42からすべてメイプルワンピース!! ローズ指板もOK。

③ネックのにぎりにはVシェイプとUシェイプの2種類、Vシェイプは54ストラトと同じシェイプで、俗に言う3角ネック。長時間のプレイにも指が「スムーズ」で疲れを感じないため、ハイテクを自認する「プロミュージシャン」は特にこのシェイプが「お気に入り」なのだ。Uシェイプネックは少し丸く、手によくなじみ、とても弾きやすい。高度のテクニクも思ひのままプレイできるのだ。



★Vシェイプネック ★Uシェイプネック

④いずれもフレッキング(フレット仕上げ)は完璧といえるだろう。まず、フレットが「打ち込まれるフレット」みぞはフレットの足が「入る深さ」にあわせて、みぞを1本1本つたてるので「キミのハードなプレイにもバツクリたじろれる」※

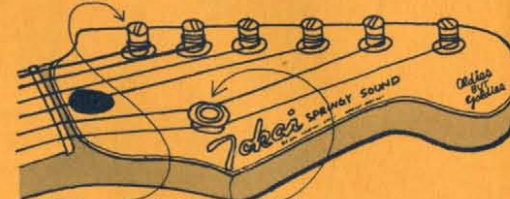


★ネームは「オールド」同様、塗装まわりの上に貼られている。ソックスで強くひいたりすると、はがれちゃうのだ。これをうまく利用するとオシロイ???

★ナットは牛骨。トーカイのクラフトマンも、この部分の加工には細心の注意をはらっているから仕上がりは、いっまでも「バツクン!!」ギターの重要なポイントだから時間をたっぷりかけたのだ。ミュージックショップで「そのときは」をじっくり見て欲しい。

トーカイの 徹底と超一流

※ギヤは高性能2条ギヤで「タつきなし!!」エレキを愛するプレイヤーには最高の贈り物と「なつたのだ。重量が「ロートマチックバグ」よりも軽いので「オールド」の持ち味である高音域が「キミの想像」をこえるはずだし。もちろん低音は、ハリがあって魅力的な事は「いっまでもない」。以上の説明はすべて音づくりに深くかかわり、直結している。つまり「STシリーズ」の本質の一端なのだ。もう一度、読み直しても構はないよ。

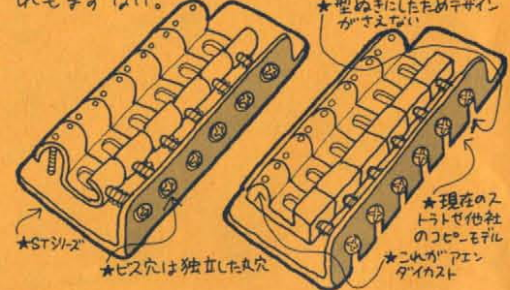


★「ストリング」ポストが「短い」ので「弦」のテンションが「バツクリ」かかる。

★「ストリング」ガイドも「双型」が「1」だけ。

●ポリシー-4 シンクロナイズド・トレモロ ユニット(ブリッジ)

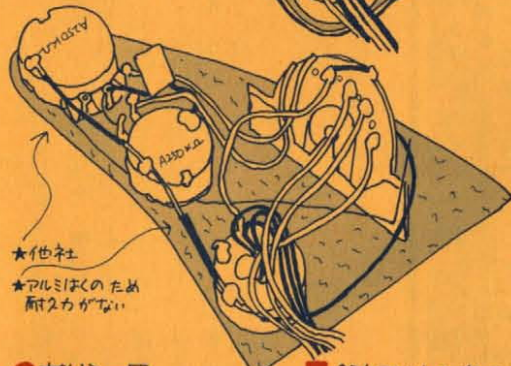
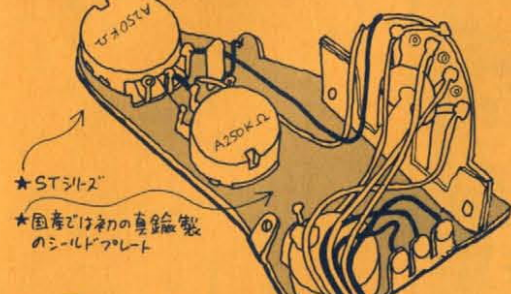
これも新開発の「トレモロ」ユニット。どこが優れているかというところ、54ストラトのあの微妙な「サウンド」が「プレス」カコエ製のブリッジから創り出されたことに注目し、これをそのまま採用した点にある。現在の「フェンダー」ストラトも、また他社の「オールド」コピーモデルも「キャスト」になつてしまっているのとは「なつた」と残念なことが、また「トレモロ」ユニットの「パワー」を100%発揮するための「トレモロ」アーチ特殊合金の採用で「耐久力」は「グン」とアップ。アーチ折れは「ほとんど」ないのだ。もちろん「ユニット」復元の「ネジ」の「ボルト」も「まず」ない。



★「ST」シリーズ ★「ビス」穴は「独立」した穴 ★「現在の」ストラトで「他社」の「コピー」モデル ★「ここ」が「アレン」ダイキャスト

●ポリシー-6 配線シールド部

シールドプレートを採用、そのため長期にわたって安定したシールドを力果を發揮する。配線の際にも「リア」ブレジスターの性能を低下させないよう別に「端子」を設けて「ハンダ」付けしてある。メンテナンスも「ラク」なのだ。ギターにはこの「ぐらい」の手の込んだ「配線」が必要なのだ。

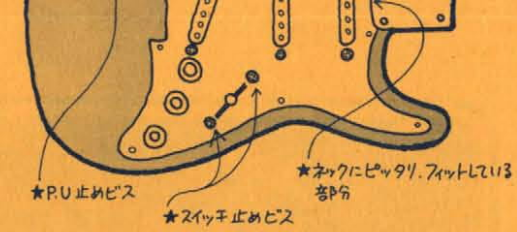


●ポリシー-7 ピックアップ

54ストラトのあの「スプリング」サウンドは現在の「ストラト」と少し違うのである。どちらでも「甲乙」つけがたいが「99」の「プロミュージシャン」が「絶賛」するのは、やはり「オールド」サウンドの方なのだ。これは「俗に」経時変化による「言われている」設計時点でも「かなりの」原因が「あった」のである。そこで「高音域」と「シャープ」で「枯れた」味わいのある「トーン」を再現する「ため」2種※



この部分は直接、目に見えないが「国産」では初の「真鍮」製



●ポリシー-9 ビス類の考察

STシリーズに使用されているすべてのビスは「新設計」(旧設計)なのである。理由は「簡単」。「54」ストラトの「トータル」フィニッシュは「ビス」の「形状」にもある。という「ポリ」で「製作」されて「いる」からである。特に「PU止め」ビス、スイッチ止めビスは「オールド」と「まったく」同じ。これを「成し遂げた」のは「トーカイ」の「プロ」プロジェクト「チーム」だけなのだ。

●ポリシー-10 ハードウェアのメッキ

STシリーズの「金属」部には「1号」メッキが「施」されている。3つは「2号」メッキとして「5~10」ミクロン「ぐらい」のものであるが「トーカイ」のメッキは「段違い」なのだ。この「1号」メッキは「高級」装飾品以外には「めった」に見られなく、深い「味わい」があり、強度、耐久力も「バツクン」なのだ。特に「トレモロ」アーチに「ついた」は「公式」測定によると「35」ミクロンもあり、2号メッキに「くらべ」ると「トーカイ」の「1号」メッキは「まさに」超一流!!

●ポリシー-11 アーミング

ストラトの特長である「アーミング」サウンド。古くは「バン」チャーズから「ジミー」ハドリック、リッチー・ブラックモアに至るまで、その「ダイナミック」なサウンドは「実に」魅力的ではないか。だが「音程」が「極端」に「くずれ」て「しまい」、どうにも「しまらない」という「経験」は「だれ」に「でも」あつた。また、「いま」では「その」当り前の「考え」の「アレイ」カーが「あつた」。サ、サ、サ、ビツクリ、その「くさ」が「ST」シリーズでは「極め」て「いた」のだ。理由は「いま」までの「説明」の「なが」で「たびたび」出て「いる」が「ここ」まで「おぼ」て「みよう」。

- ①弦に「テンション」が「バツクリ」かかっていること(バグ設計が「good」!!)
- ②ナット(上板)の加工が「ベスト」であること
- ③トレモロユニットの「トータル」な「精度」が「良い」こと

等々による。これに「プラス」、エレキを知りつた「若き」クラフトマンが「完璧」に「調整」して「出荷」しているのも「心強」い。

●結論:「ハテナ」宣伝「せむ」告に「まじ」わ「せ」られ「ない」け「ない」。もう一度「全部」「じっくり」読み直して「キミ」が「おぼ」ろしいと思った「ギター」を「選ん」で「くれた」ま。その「ギター」は「きっと」、キミにとって「クイン」となり「ハッピー」な「ミュージック」ライフを「エンジョイ」できると「思う」。トーカイでは「キミ」の「真剣」な「アタック」を「まじ」えている。接近して「みよう」。